

社会科学学習指導案

平成30年 ○月○日（○曜日） 第○校時 2年○組 教室 指導者 春日 大

1 単元名 欧米の進出と日本の開国

2 考察

(1) 教材観

本単元は中学校学習指導要領解説社会編(平成29年3月公示)の歴史的分野内容の「C近現代の日本と世界(1)近代の世界と日本(ア)欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き」を受けて設定したものである。

17世紀から18世紀にかけて欧米では啓蒙思想が説かれ、その影響を受けて欧米では革命により、近代民主政治が生まれた。また、蒸気機関の発達により工業化が進み、資本主義社会が成立した。

このような背景をもとに、欧米は工業製品の市場や工業原料の供給地としてアジアへと進出していく。日本にとっては、アメリカがアジア貿易や、捕鯨の中継地として開国をもとめてきた。1853年にペリーが浦賀に来航し、翌年日米和親条約を結んだ。この過程で、幕府は先例を破って大名の意見を聞き朝廷にも報告をした。この結果朝廷や、大名の発言権が強まった。その後、英米蘭露仏5か国とも条約を結んだが、相手国に領事裁判権を認め、日本の関税自主権のない不平等な内容となった。これにより、欧米と貿易が始まることで、国内の物価が高騰し、民衆の生活にも大きな影響が出るようになった。幕府は朝廷の許可を受けずに結んだこともあり、尊王攘夷運動の高まることとなった。しかし、薩英戦争、下関砲台の占領など、直接欧米と関わった薩摩藩や長州藩は攘夷の不可能を悟り、軍備の強化など近代国家の設立が必要であるとの考えから倒幕に向けて薩長同盟を結んだ。このような動きに対して将軍徳川慶喜は大政奉還を行い江戸幕府は滅んだ。

(2) 指導方針

- 生徒が主体的に学習課題を設定できるように、資料に疑問や驚きを生じさせるために、2つ以上の資料を比較したり、資料に視点を示したりする。
- 課題の設定に生かせるよう、資料に対して目標の達成に導くように視点を示す。
- 課題が身近なものになるよう、課題に対して予想する時間を確保する。
- 単元を通じて課題を意識できるように、課題を毎時間黒板や、ワークシートに示す。
- 多面的・多角的に考えられるように、立場を明確にして考える場面を設定する。
- 知識を定着させるために、適宜年表や、図を用いて学習内容を整理する場面を設定する。

3 研究との関わり

本研究は、中学校の歴史的分野の学習において、生徒が学習課題を設定し、その解決を図る課題解決型の学習過程の研究である。単元の学習課題と、単位時間ごとの学習課題につながりをもたせることで、歴史的事象を関連づけて考察できることをねらう。本研究では、学習課題を「問い」と表現する。「問い」は、教師が資料を効果的に活用し、そこから生じた疑問や驚きを基に生徒が設定する。単元の目標（ねらい）に導く「問い」をMQ（メイン・クエスチョン）とし、単位時間の「問い」をSQ（サブ・クエスチョン）と表す。単位時間で学習したことが、MQの解決の要素となるようにSQを設定する。MQとSQを組み合わせて構造化することで、歴史的事象のつながりや因果関係を考察する力の育成を目指す。

4 単元の見目

開国から江戸幕府滅亡までの過程を、欧米諸国の動きと関連付けて、開国の影響とその後の幕府政治の推移について多面的・多角的に考えさせる。

5 指導計画（全4時間予定）

評価規準	関心・意欲・態度	開国の影響から江戸幕府滅亡までの過程について関心を高め、意欲的に追究している。		
	思考・判断・表現	開国の影響とその後の幕府政治の推移について、経済面・社会面から考察して公正に判断し、適切に表現している。		
	資料活用・技能	開国の影響とその後の幕府政治の推移について、追究し考察した過程や結果をまとめている。		
	知識・理解	開国から江戸幕府滅亡までの経緯を理解し、その知識を身につけている。		
時間	過程	伸ばしたい資質・能力		主な学習活動
		活用させたい知識等	思考力・表現力等	
第1時	課題把握	○ペリー来航から日米修好通商条約締結に至る過程を調べ、条約の内容を理解する。 ○条約を調べる学習を通して、日本と欧米で不平等な関係で結ばれたことが理解できている。	○資料をもとに課題を設定し、本単元への意欲を高めている。	○「下関砲台占領」の写真からMQを設定する。 ○「黒船」の絵からSQを設定する。 ○条約の内容を調べる。 ○調べたことを基に考察する。
第2時～第3時	課題追究	○対外政策を転換して開国したことや、その結果国内への影響について、資料を使って考える。	○開国による、物価の急上昇の様子を捉え、武士たちだけでなく、一般民衆にまで、開国の影響があったことを捉えている。	○横浜の『開港前』『開港後』の絵図を比べSQを設定する。 ○資料の読み取りを通して開国したことによる、国内の経済、生活への影響を捉える。 ○立場を決めて、幕府滅亡までの動きを捉える。
		○大政奉還前後の薩摩藩・長州藩・幕府・朝廷の変化をその背景とともに理解できている。	○大政奉還前後の薩摩藩・長州藩・幕府・朝廷の動きを調べる学習を通して、幕府が孤立し、滅亡していく過程を考えている。	○『大政奉還』の絵から気付くことを挙げる。 ○大政奉還前後における薩摩藩、長州藩、幕府、朝廷の変化をまとめる。
第4時	まとめ	○単元の学習を振り返り雄藩が攘夷から倒幕へと変化したことをとらえている。	○開国の影響を踏まえ、幕府が滅亡していった様子を自分の言葉でまとめることができている。	○単位時間のSQの解を基にMQをまとめる。

本時の展開（1 / 4）

- (1) **ねらい** 下関砲台の占領の写真を読み取る活動を通して、単元の課題を設定する。
日米間で結ばれた条約を読み取り、日本に対して不平等な内容であることを理解する。
- (2) **準備** 下関砲台占領の拡大図・『黒船（武州潮田遠景）』の絵
(タブレットパソコン・ディスプレイ) ワークシート
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
①MQを設定する。「下関砲台占領の写真」(1864年)から気付いたことを挙げる。 ・外国人がたくさんいる・大砲がある ・日本の家がある。	8	視点・住居→日本家屋 ・人→欧米人 ○「下関砲台」の写真は黒船来航の10年後であることを伝える。 →10年間の変化も考えさせたい。
MQ：なぜ、日本なのに、欧米人に占領されているのか。		
②SQを設定する。「黒船」の絵(1854年)を見て外国船と日本の船を比較する。 ・黒船は大きい。 ・日本の船は小さい。	35	○船の大小より、国力の差も捉えさせたい。
SQ：なぜ、たくさんの黒船が日本にやってきたのか。どのようなことが起きるのか。		
③ 国内外の様子を年表に整理する。 ④「日米和親条約」と「日米修好通商条約」の内容を調べる。 ・通商条約は貿易を求めている ・5港開港することを求めている ・アメリカに領事裁判権を認め、日本に関税自主権が無いことは日本にとって不平等。 ・日米修交通商条約では日本海側も開港され、日本各地が開港された。 ・横浜は下田より、江戸に近い ⑤ 条約について確認する。 ・朝廷の許可なく結ばれている。 ・幕府が大名の意見を聞いた。 →幕府の力が衰えている		○日本とアメリカとの関りを整理するために、年表で事項を整理させる。 ○開国当初の理由は捕鯨船の燃料補給など通商ではなかったことを伝える。 ○港の位置を確認する。 ○不平等な内容について補足説明をする。 ○条約を誰が結んだか知ることで、国内の不安定さを想起させる。 →条約は、通常国同士で結ぶところ、幕府が朝廷の許可なく結んだこと（国がまともでないことを捉えさせる） ◎条約の難しい用語には、説明を加え、意味が分かるよう支援する。
⑥ 本時のまとめ ・MQを意識して、SQをまとめる。	7	○条約が結ばれる背景とその後の影響についてどのような思いがあるか考えさせる。 ◇条約を調べる学習を通して、日本と欧米で不平等な関係で結ばれたことが理解できている。 (ワークシートの記述) 【関・知】

本時の展開（2 / 4）

- (1) **ねらい** 資料から読み取ったことを基に、様々な立場に立って開国の影響を捉える。
- (2) **準備** 横浜の「開港前」「開港後」の絵図（タブレットパソコン・ディスプレイ）ワークシート
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
① S Qを設定する。横浜の開港前後の絵図を比較する。 ・人が多く賑やかになった。 ・荷物が多く行き来している。	10	視点 人の様子→往来が増えた。 荷物→取引されるものが増えた。
33		
S Q : 開港したことで誰が、どのような影響を受けたのか。		
② 影響を予想する。 ・貿易が活発になる。 ・貿易品が入ってきたの。 ・欧米の文化が入ってきた。 ③ 予想を基に調べる。 ・社会、経済の側面で調べる。 ・個人で調べた後、全体で共有する。 ④ 調べたことを基に考察する。 ・幕府の人、一般の人、尊王攘夷派の立場に立って調べたことを考察する。		○町の様子の変化から、貿易の影響について想起させる。 ○課題への意識を高めさせるため影響を予想させる。 ○調べる見通しをもたせるため、社会、経済の面で予想をくくる。 ○押さえない内容・提示資料 ・輸出品目・輸入品目（グラフ） ・品物不足による、物価高騰（グラフ・文章資料） ・生糸の値上がり（グラフ） ◎物価上昇など、日常生活に置き換えて考えられるよう支援する。
⑥ 本時のまとめする。 ・ S Qについて、様々な立場に立って開国の影響を考察する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> まとめ 開国により、物価上昇や尊王攘夷運動が高まった。その結果安定していた世の中が、一般の人、幕府の人、それぞれ不安定になってきた。 </div>	7	○調べた事実を基に考察させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> ◇開国による物価の急上昇の様子を捉え、武士たちだけでなく、一般人にまで、開国の影響があったことを捉えている。 （ワークシートの記述）【技】 </div>

本時の展開 (3 / 4)

- (1) **ねらい** 大政奉還前後の薩摩藩、長州藩、幕府、朝廷の動きを調べる活動を通して、幕府の力が衰えていく様子を考察する。
- (2) **準備** 『大政奉還 (邨田丹陵)』 (タブレットパソコン・ディスプレイ) ワークシート
- (3) **展開**

学習活動 予想される生徒の反応	時間 (分)	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
① S Qの設定する。「大政奉還」の絵を見る。 ・将軍らしき人がいる。 ・何かを伝えようとしている。 ・重要なことが行われそうだ。	8	視点・人の様子→頭を下げている大名が複数 『大政奉還』の絵から幕府のただならぬ雰 囲気を感じさせる。
S Q : なぜ、このような様子になっているのか(大政奉還の絵)、どのようなことが起きているのか。		
③ 大政奉還前後の出来事を調べる。 ・薩摩藩、長州藩、幕府、朝廷それぞれの出来事を調べる。 ・個人で調べた後、全体で共有する。 ④ それぞれの動きをワークシートの表にまとめる。	35	○それぞれの藩の動きを調べることで、幕府の力が衰えていく様子を捉えさせる。 ○調べた内容を整理するために、表にまとめさせる。
⑤ 本時のまとめをする。 S Qについて幕府の立場でまとめる。	7	○幕府の立場に立って出来事を考察することで幕末から明治維新までの流れを整理させる。 ◎幕府の立場がイメージしづらい生徒には、それぞれの出来事が幕府にどのような影響があるか考えられるよう支援する。
まとめ 薩摩藩、長州藩、幕府、朝廷とそれぞれつながりをもっていたが、わずか数年で幕府が孤立し、滅亡した。		◇大政奉還前後の長州藩・薩摩藩・幕府・朝廷の動きを調べる学習を通して、幕府が孤立し、滅亡していく過程を捉えられている。 (ワークシートの記述) 【思】

本時の展開（４／４）

(1)ねらい 年表や図にまとめたり、単元の学習を振り返る活動を通して、考えを広めたり、深めたりする。

(2) 準備 教科書・資料集・ワークシート

(3) 展開

学習活動 予想される生徒の反応	時間 (分)	指導上の留意点及び支援・評価 (◎努力を要する生徒への支援 ◇評価)
① 既習事項を整理するために、年表にまとめる。	10	○学習を振り返るために、年表にまとめ流れをつかませる。
② SQを基にMQをまとめる。 ・個人活動の後、全体で共有する。	20	○単元の課題を意識できるように、課題の言葉が表すことを質問し、既習事項を想起させる。 ○年表を生かして、出来事とその背景と影響を振り返らせる。
<p>③ 単元の学習を振り返る。 ・単位時間に学習したことを基に単元全体の学習を振り返る。</p> <div data-bbox="167 1122 657 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>まとめ 開国の結果、国内は政治・経済が不安定になった。そこで、長州藩や薩摩藩は欧米に直接攻撃をした。その結果、国力の差を実感することとなった。そのため、幕府を倒して欧米に負けない仕組みが整った国家を目指すことを考えた。</p> </div>	20	<p>○江戸から明治へ時代が変わったことを既習の内容をもとに振り返らせる。 ・欧米との関わりの変化と国内の影響 ・経済・政治の変化などその背景にあることを既習のワークシートなどから振り返られるようにする。 ・小学校時代の学習と比較して、外国とのつながりやその影響もふくめて、振り返られるよう助言する。</p> <p>◎事象を整理するために、キーワードを図でつなぐことなどの助言をする。</p> <div data-bbox="767 1317 1401 1518" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>◇開国の影響を踏まえ、幕府が滅亡していった様子を自分の言葉でまとめることができている。 (ワークシートの記述) 【思】</p> </div>

1. 資料を見て気付くこと「下関砲台の占領」(1864年)

2. 気付いたことから疑問に思うこと(例:〇〇だから△△なのではないか?)

3. 単元の「問い」(学習課題)

◎

4. 資料を見て気付くこと「黒船」の絵(1854年)

5. 気付いたことから疑問に思うこと

6. 今日の「問い」

○

7. 国内外の動きを年表にまとめよう (字体:日本 国外)

1840年 アヘン戦争(～1842年 清敗戦)

1853年 ペリーが浦賀に来航

1854年 「()条約」を結ぶ

1856年 第二次アヘン戦争(アロー戦争) (～1860年 清敗戦)

1858年 「()条約」幕府の大老()が結ぶ

8. 条約を調べよう。

日米和親条約 (部分要約)	日米修好通商条約(部分要約)
<p>第2条 下田、函館の両港は、アメリカ船のまきと水、食料、石炭、欠乏の品を、日本で調達することに限って、入港を許可する</p> <p>第9条 日本政府が、アメリカ人以外の外国人に対して、現在アメリカ人に許可していないことを許す場合には、アメリカ人にも同様に許可しなければならない。このことについて交渉したり、時間をかけたりしないこと。</p>	<p>第3条 下田・函館のほか、神奈川、長崎、新潟、兵庫を開港すること。…神奈川を開いた6か月後、下田を閉ざすこと。</p> <p>第4条 全て日本に対して輸出入する商品は別に定めるとおり、日本政府へ関税を納めること。…アヘンの輸入は禁止する。もしアメリカの商船がアヘンを3斤(約1.8kg)以上を持ってきた場合は、超過分は没収する。</p> <p>第6条 日本人に対して法を犯したアメリカ人は、アメリカ領事裁判所において取り調べのうえ、アメリカの法律によつてばつすること。</p>
内容をまとめると	内容をまとめると
<p>() の意見を聞いた。 ※朝廷にも報告</p>	<p>() の許可を得ていない。</p>

9. 今日の振り返り(単元の問題も意識して)

単元の「問い」(学習課題)◎ 今日の問い○

◎なぜ、日本国内なのに欧米人に負けているのか。

○

1. 2枚の絵を比較して

2. 疑問に思うこと

3. 予想

4. 様々な面から調べよう

()の面	()の面	物価の上昇を表すグラフ

()

1石=10斗=100升=1000合。1食に米1合(180ml 重さ150g) ※1日3合がおおむね成人一人の消費量。1匁=3.75g(約5円玉の重さ)

5. 色々な立場になって考えよう (調べたことや、グラフなどから読み取ったことを基に考えよう)

幕府の人(尊王攘夷を抑え政策を通したい)	一般の人(米や生活用品を買う)	尊王攘夷派(天皇を尊び外国勢力を排除)

6. まとめ (◎単元の問いも意識して)

--

◎なぜ、日本国内なのに欧米人に負けているのか。
 ○なぜ、

1. 『大政奉還』の絵より

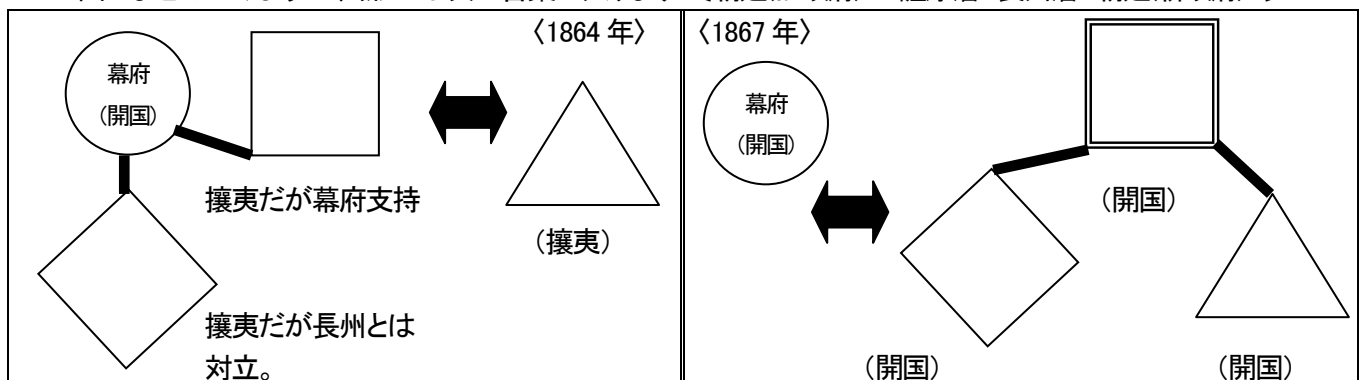
様子
 ↓
 ということは

2. 今日の「問い」○に対する予想

3. 各々の動きをとらえよう。

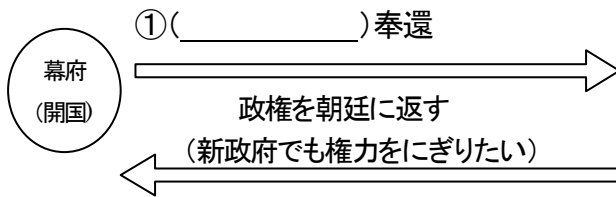
年	長州藩	薩摩藩	幕府
1862		・生麦事件 (薩摩藩士が行列を横切ったイギリス人を殺害)	
1863	・朝廷を動かして、幕府に攘夷実行を認めさせる。 ・関門海峡を通る外国船を砲撃する。	・生麦事件の報復のため薩摩英戦争が起きる。 →イギリス艦隊に鹿児島を攻撃される。	・朝廷の支持を取り付け京都から攘夷を主張する公家・長州藩士を追放。 (8月18日の政変)
1864	・京都での主導権を取り戻すため京都を攻める。 →会津藩・薩摩藩に敗れる。 ・イギリス・フランス・アメリカ・オランダの4か国の艦隊に報復攻撃にあう。(関門海峡で外国船を砲撃したため)		・長州藩に出兵。幕府に従わせる。 (第一次長州征討)
1866			・長州藩を攻める。 (第二次長州征討) →14代将軍徳川家茂の死を理由に停戦
			【 _____ 】が結ばれる(坂本龍馬の仲介)
1867			【 _____ 】 が行われる。

4. 図にまとめてみよう 図形には次の言葉が入ります [朝廷(旧政府) 薩摩藩 長州藩 朝廷(新政府)]



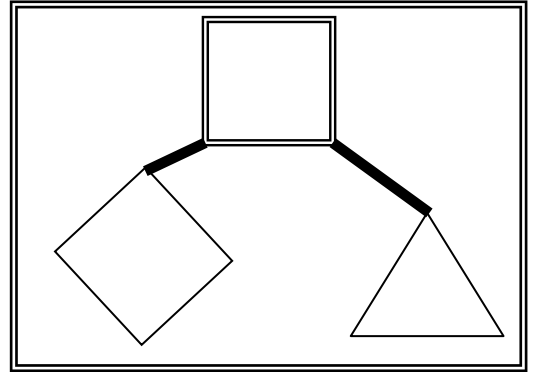
5. 下の空欄に適した語句を入れて、1867年以後の出来事をまとめてみよう。

<1867年>



② (徳川 _____) 15代将軍

③ (_____) の大号令を発表する



<1868年>



<領地なども朝廷へ返却！>

④ (_____) 戦争始まる (~1869年)

⑤ (_____ 軍) 敗北・新政府の成立

6. 本時の振り返り

まとめ<この単元を振り返って>

【◎なぜ、日本の砲台が欧米人に占領されているのか。】について

この単元の学習を通して、新しく知ったことや、考えが広がったり、深まったりしたことなどについて教えてください。

(図と文章で表現しても可)

資料 中学校学習指導要領解説（平成29年3月公示）社会編（歴史的分野）における「問い」について

各事項のねらい	課題（問い）の考察	問い
<p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 世界の古代文明や宗教のおこり</p> <p>(イ) 日本列島における国家形成</p> <p>(ウ) 律令国家の形成</p> <p>(エ) 古代の文化と東アジアとの関わり</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 古代文明や宗教が起こった場所や環境、農耕の広まりや生産技術の発展、東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(エ)までについて古代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>(イ) 古代までの日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>	<p>○ 「世界の各地で文明が築かれたことを理解する」</p> <p>○ 「東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解できるようにする」</p> <p>○ 「東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みを整えられ、その後、天皇や貴族による政治が開明したことを理解できるようにする」</p> <p>○ 「国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解できるようにする」</p> <p>課題（問い）の着目点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「古代文明や宗教が起こった場所や環境」 ・ 「農耕の広まりや生産技術の発展」 ・ 「東アジアとの接触や交流と政治や文化の変化」 	<p>◆ 「本格的な稲作の広まりによって社会はどのようにに変化したのだろうか」</p> <p>◆ 「中国をはじめとする東アジアとの交流は、日本の文化にどのような影響を与えたのだろうか」</p>
<p>○ 「東アジアの文明の影響を受けながら我が国で国家が形成されていったことを理解できるようにする」</p> <p>○ 「東アジアの文物や制度を積極的に取り入れながら国家の仕組みを整えられ、その後、天皇や貴族による政治が開明したことを理解できるようにする」</p> <p>○ 「国際的な要素をもった文化が栄え、それらを基礎としながら文化の国風化が進んだことを理解できるようにする」</p>	<p>◇ 「古代文明や宗教が起こった場所や環境」などに着目して課題（問い）を設定し、文明や宗教の特徴を比較して考察できるようにすることが考えられる。</p> <p>◇ 「農耕の広まりや生産技術の発展」などに着目して課題（問い）を設定し、農耕の広まりが生活や社会に与えた影響などを考察できるようにすることが考えられる。</p> <p>◇ 「東アジアとの接触や交流と政治…の変化」などに着目して課題（問い）を設定し、東アジアの動きが政治に与えた影響などを考察できるようにすることが考えられる。</p> <p>◇ 「東アジアとの接触や交流と…文化の変化」に着目して課題（問い）を設定し、東アジアの動きが文化に与えた影響などを考察できるようにすることが考えられる。</p>	<p>◆ 「本格的な稲作の広まりによって社会はどのようにに変化したのだろうか」</p> <p>◆ 「中国をはじめとする東アジアとの交流は、日本の文化にどのような影響を与えたのだろうか」</p>

資料 中学校学習指導要領解説（平成29年3月公示）社会編（歴史的分野）における「問い」について

(2) 中世の日本	ねらい	課題（問い）の考察	問い
<p>ア 次のような知識を身に付けること</p> <p>(ア) 武家政治の成立とユーラシアの交流</p> <p>(イ) 武家政治の展開と東アジアの動き</p> <p>(ウ) 民衆の成長と新たな文化の形成</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 武士の政治への進出と展開，東アジアにおける交流，農業や商工業の発達などに着目して，事象を相互に関連付けるなどして，アの（ア）から（ウ）までについて中世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し，表現すること。</p> <p>(イ) 中世の日本を大観して，時代の特色を多面的・多角的に考察し，表現すること。</p>	<p>○ 「武士が台頭して主従の結びつきや武力を背景とした武家政権が成立し，その支配が広まったこと，元寇がユーラシアの変化の中で起こったことを理解できるようにする」</p> <p>○ 「武家政治の展開とともに，東アジア世界との密接な関わりが見られたことを理解できるようにする」</p> <p>○ 「民衆の成長を背景とした社会や文化が生まれたことを理解できるようにする」</p> <p>課題（問い）の着目点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「武士の政治への進出と展開」 ・ 「東アジアにおける交流」 ・ 「農業や商工業の発達」 	<p>◇ 「東アジアにおける交流」などに着目して課題（問い）を設定し，モンゴル帝国の拡大の様子を背景に考察したりできるようにすることなどが考えられる。</p> <p>◇ 「武士の政治への進出と展開」などに着目して課題（問い）を設定し，この時代の武家政治の動きとその特徴を考察できるようにしたり，「東アジアにおける交流」などに着目して，東アジアの動きが国内の政治や社会に与えた影響を考察できるようにしたりすることなどが考えられる。</p> <p>◇ 「農業や商工業の発達」に着目して課題（問い）を設定し，民衆の成長が社会に与えた影響を考察できるようにすることなどが考えられる。</p>	<p>◆ 「武士による政治は貴族の政治とどのような違いがあるのだろうか」</p> <p>◆ 「明や朝鮮との交流は日本にどのような影響を及ぼしたのだろうか」</p> <p>◆ 「産業の発達による民衆の成長は，社会や文化にどのような変化をもたらしたのだろうか」</p>

資料 中学校学習指導要領解説（平成29年3月公示）社会編（歴史的分野）における「問い」について

③ 近世の日本	ねらい	課題（問い）の考察	問い
<p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 世界の動きと統一事業</p> <p>(イ) 江戸幕府の成立と対外関係</p> <p>(ウ) 産業の発達と町人文化</p> <p>(エ) 幕府の政治の展開</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変容と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(エ)までについて近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>(イ) 近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>	<p>○ 「近世社会の基礎が築かれたこと」を理解すること</p> <p>○ 「幕府と藩による支配が確立したことを理解できるようにする」</p> <p>○ 「町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解できるようにする」</p> <p>○ 「幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解できるようにする」</p>	<p>◇ 「交易の広がりとその影響」などに着目して課題（問い）を設定し、豊かな交易が行われていたアジアにヨーロッパ諸国が進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、それを背景として日本とヨーロッパ諸国の接触がおこったことや、日本の政治や文化に与えた影響などを考察できるようにすることが考えられる。</p> <p>◇ 「統一政権の諸政策の目的」などに着目して課題（問い）を設定し、中世社会から近世社会への変化が生み出され、日本の政治や文化に与えた影響などを考察できるようにすることが考えられる。</p> <p>◇ 「統一政権の諸政策の目的」などに着目して課題（問い）を設定し、江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどを考察できるようにすることが考えられる。</p> <p>◇ 「統一政権の諸政策の目的」などに着目して課題（問い）を設定し、江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどを考察できるようにすることが考えられる。</p> <p>◇ 「産業の発達と文化の担い手の変化」などに着目して課題（問い）を設定し、都市を中心とした経済が形成されていく中で、日本の文化の空間的な広がりが生み出され、それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや、生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴などを考察できるようにすることが考えられる。</p> <p>◇ 「社会の変化と幕府の政策の変化」などに着目して課題（問い）を設定し、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それを背景として百姓一揆がおこったことや、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開などを考察できるようにすることが考えられる。</p>	<p>◆ 「安土桃山時代の文化は、それ以前の文化とどのような違いがあるのだろうか、またその違いはどのような政治や社会の動きから生まれたのだろうか」</p> <p>◆ 「ヨーロッパ人はなぜアジアに来たのだろうか」</p> <p>◆ 「なぜ町人が文化の担い手になったのだろうか」</p> <p>◆ 「なぜ幕府の政治は改革が必要になったのだろうか」</p>
	<p>課題（問い）の着目点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「交易の広がりとその影響」 ・ 「統一政権の諸政策の目的」 ・ 「産業の発達と文化の担い手の変化」 ・ 「社会の変化と幕府の政策の変化」 		

資料 中学校学習指導要領解説（平成29年3月公示）社会編（歴史的分野）における「問い」について

問い	課題（問い）の考察	ねらい	問い
<p>ア 次のような知識を身に付けること。 (ア) 欧米における近代社会の成立とアジア諸国の動き (イ) 明治維新と近代国家の形成 (ウ) 議会政治の始まりと国際社会との関わり (エ) 近代産業の発展と近代文化の形成 (オ) 第一次世界大戦前後の国際情勢と大衆の出現 (カ) 第二次世界大戦と人類への惨禍</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。 (ア) 工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)から(カ)までについて近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。 (イ) 近代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>	<p>○ 「欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解できるようにする」 ○ 「明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解できるようにする」 ○ 「立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解できるようにする」 ○ 「我が国で近代産業が発展し、近代文化が形成されたことを理解できるようにする」 ○ 「第一次世界大戦前後の国際情勢及び我が国の動きと、大戦後に国際平和への努力がなされたことを理解できるようにする」 ○ 「軍部の台頭から戦争までの経過と、大戦が人類全体に惨禍を及ぼしたことを理解できるようにする」</p>	<p>◇ 「工業化の進展と政治や社会の変化」などに着目して課題（問い）を設定し、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響などを考察できるようにすることが考えられる。 ◇ 「明治政府の諸改革の目的」などに着目して課題（問い）を設定し、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響を考察できるようにすることが考えられる。 ◇ 「議会政治や外交の展開」などに着目して課題（問い）を設定し、世界との関係や、現代の政治とのつながりを考察できるようにすることが考えられる。 ◇ 「近代化がもたらした文化への影響」などに着目して課題（問い）を設定し、産業の発展が国民生活や文化に与えた影響を考察できるようにすることが考えられる。 ◇ 「世界の動きと我が国との関連」などに着目して課題（問い）を設定し、戦争による世界と我が国の社会の変化や影響を考察できるようにすることが考えられる。 ◇ 「経済の変化の政治への影響」、「戦争に向かう時期の社会や生活の変化」、「世界の動きと我が国との関連」などに着目して課題（問い）を設定し二度目の世界大戦が起こった理由やその戦争の影響を世界的な視野で考察できるようにすることが考えられる。</p>	<p>◆ 「明治政府はどのような国づくりを目指したのだろうか」 ◆ 「日本における立憲制の成立は、当時の国際社会との関わりでどのような意義があったのだろうか」 ◆ 「なぜ、第一次世界大戦の反省は生かされなかったのだろうか」</p>
	<p>課題（問い）の着目点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「工業化の進展と政治や社会の変化」 ・ 「明治政府の諸改革の目的」 ・ 「議会政治や外交の展開」 ・ 「近代化がもたらした文化への影響」 ・ 「経済の変化の政治への影響」 ・ 「戦争に向かう時期の社会や生活の変化」 ・ 「世界の動きと我が国との関連」 		

資料 中学校学習指導要領解説（平成29年3月公示）社会編（歴史的分野）における「問い」について

ねらい	課題（問い）の考察	問い
<p>(2) 現代の日本と世界</p> <p>ア 次のような知識を身に付けること。</p> <p>(ア) 日本の民主化と冷戦下の国際社会</p> <p>(イ) 日本の経済の発展とグローバル化する世界</p> <p>イ 次のような思考力、判断力、表現力等を身に付けること。</p> <p>(ア) 諸改革の展開と国際社会の変化、政治の展開と国民生活の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、アの(ア)及び(イ)について現代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>(イ) 現代の日本と世界を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>(ウ) これまでの学習を踏まえ、歴史と私たちとのつながり、現在と未来の日本や世界の在り方について、課題意識をもって多面的・多角的に考察、構想し、表現すること。</p>	<p>ねらい</p> <p>○ 「第二次世界大戦後の諸改革の特色や世界の動きの中で新しい日本の建設が進められたことを理解できるようにする」</p> <p>○ 「我が国の経済や科学技術の発展によって国民の生活が向上し、国際社会において我が国の役割が大きくなってきたことを理解できるようにする」</p> <p>○ 年表や地図を作成したり、文章にまとめたりするなどの学習が考えられる。</p>	<p>◆ 「第二次世界大戦後の日本は『新しい日本』と表現されることがあるが、その理由を説明しよう」</p> <p>◆ 「国際社会で日本の役割が大きくなったと考えられるのは、どのような点であろうか」</p>
<p>課題（問い）の着目点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「諸改革の展開と国際社会の変化」 ・ 「政治の展開と国民生活の変化」 	<p>◇ 「諸改革の展開と国際社会の変化」などに着目して課題（問い）を設定し、諸改革が日本の社会に及ぼした変化や冷戦体制下の日本と世界との関わりについて考察できるようにする活動などが考えられる。</p> <p>◇ 「政治の展開と国民生活の変化」などに着目して課題（問い）を設定し、国民生活への影響と国際平和の実現への努力などについて考察する活動などが考えられる。</p>	